

平成28年度第1回
北区リレーションシップ協議会会議録

平成28年12月19日

平成28年度第1回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 平成28年12月19日(月)

開会 午後5時35分 ～ 閉会 午後6時29分

出席者

出席委員(16人)

- 委員 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平
- 委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
- 委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
- 委員 日本スポーツ振興センター西が丘管理部 河村 弘之
- 委員 東京都障害者総合スポーツセンター 瀬上 健司
- 委員 東京都北区体育協会 奥倉 芳徳
- 委員 北区地域総合型スポーツクラブ れっど★しゃっふる 吉村 実花子
- 委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳
- 委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄
- 委員 (仮称)東京都北区観光協会設立発起人会 大前 孝太郎
- 委員 北区文化振興財団 伊藤 元司
- 委員 北区立中学校PTA連合会 徳江 康幸
- 委員 北区青少年地区委員会会長会 加藤 和宣
- 委員 北区青少年委員会 清水 恒明
- 委員 北区地域振興部長 浅川 謙治
- 委員 北区教育振興部長 田草川 昭夫

代理出席(3人)

- 東京商工会議所北支部 佐塚 太一
- 北区立小学校体育会 渋谷 泰史
- 北区立中学校体育会 捧 聡子

欠席委員(3人)

- 委員 北区町会自治会連合会 栗橋 弘明
- 委員 北区立小学校PTA連合会 菅野 晃典
- 委員 北区政策経営部長 依田 園子

次第

1. 開 会

2. 挨拶

地域振興部長 浅川謙治

3. 構成員紹介

4. 議 題

(1) 「北区リレーションシップ協議会」概要について

(2) 北区リレーションシップ協議会設置要綱について

(3) 役員の選任について

(4) 区からの情報提供について

①東京2020大会の概要

②東京2020大会開催に向けた本区の実施計画

③東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアール

④東京2020参画プログラム

⑤リオデジャネイロ2016大会の結果報告

(5) 今後のスケジュールについて

(6) その他

5. 閉 会

午後5時35分開会

○事務局（木暮主査）

それでは、皆様、大変お待たせいたしました。

ただいまから、平成28年度第1回北区リレーションシップ協議会を開催いたします。

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます東京オリンピック・パラリンピック担当課担当主査の木暮と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

初めに会議の進行について説明させていただきます。

本日の会議につきましては、議事録作成のため音声を録音させていただきます。ご発言の際

は事務局がマイクをお持ちいたしますので、ご使用願います。また、会議の活動記録作成のため会議風景の写真を撮影させていただきます。

次に、この会議は公開での開催となります。傍聴を希望される方が会場に入りますので、あらかじめご了解いただければと存じます。

それでは、本日の資料について確認させていただきます。お手元に配付させていただきました資料をご覧くださいでしょうか。まず、表紙が次第となっております。おめくりいただきますと、本日の配付資料の一覧、次からの資料は右肩のところに資料番号が振っております。まずは資料の1、本日の協議会の構成員の方々の名簿。次に資料2、本日の席次表となっております。資料の3番、「北区リレーションシップ協議会」こちらの概要でございます。こちら両面刷りと、それから次に別紙で横刷りのもの、片面刷りのものがございます。資料の4番、この協議会の設置に関します規定を定めた要綱でございます。ホチキスどめ、ページ数でいくと3ページになってございます。次に資料の5番、東京2020大会の概要をまとめたもの、両面刷りでございます。資料の6番、東京2020大会の開催に向けた本区、北区の取り組みをまとめたもの、ページ番号がついていなくて恐縮でございます。ペーパーでいうと4枚、両面刷りですので8ページのつづりになってございます。続いて資料ナンバー7、オリンピック・パラリンピックフラッグツアーについて、同じくホチキスどめで4ページだてになってございます。資料の8番、これは横書きになります。両面刷りになっております。資料の9番、先般行われましたリオデジャネイロの結果報告となっております。両面刷りでございます。最後に資料番号10番、今後のスケジュールの片面刷りをご用意させていただいております。

また、本日、城北信用金庫様から同じく置かせていただきましたピンク色のパンフレット、それから新聞記事の写しを頂戴しております。後ほどご説明させていただきます。

不足等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。もし落丁等ございましたら、その都度事務局におっしゃっていただければ差しかえますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、地域振興部長、浅川からご挨拶申し上げます。

○浅川地域振興部長

皆さん、こんばんは。地域振興部長の浅川と申します。

本日は年末のお忙しいところ、このような時間にお集まりいただきましてどうもありがとうございます。

さて、北区リレーションシップ協議会の第1回目ということでございます。今年の夏、リオのオリンピック・パラリンピックが日本中を沸かせたところでございますけれども、いよいよ

2020年東京大会に向けた4年間がスタートを切ったということでございまして、北区でこのリレーションシップ協議会第1回目を開催させていただくことにしたところでございます。

この協議会、何をやっていくのかということなのですが、基本的には2020の大会を盛り上げていこうというのが1点目。それから2点目として、区内にJ I S S、それからNTCが西が丘のほうにあります。そういった施設が日本で唯一の施設が北区にあるということをせっかくだから十分活用させていただきたいというふうに思っております。3番目に、2020年が済んだ後に何かレガシーが北区に残っていくように、そういったところについてもお知恵を拝借して参りたいというふうに考えております。

実は、この北区リレーションシップ協議会というふうな組織、23区の中で既に設置したところがございまして、中央区が既に設置をしておりますが、実は北区、2番目でございます。ですので、手本がない手探り状態でございますが、本日、協議会を主催しております事務局、オリンピック・パラリンピック担当課の課長以下、少数精鋭6人、できることは何でもやってまいりたいと思いますので、皆さんからさまざま、お知恵を拝借していただければと思っております。年2回ほどの開催になるかと思えます。2020まではあと4年というふうに申し上げましたけれども、正確に言うと、もう3年と7カ月ぐらいなんですよね。直近になってばたばたしてもということがございまして、実際この一、二年が勝負になってくるのかなと思っております。皆さんからさまざまなアイデアをいただいて、私どものほうでできることを取り組んで北区のスポーツ等々を盛り上げていけるかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○事務局（木暮主査）

ありがとうございました。

それでは、次に本日が第1回の開催になりますので、委員の皆様をご紹介させていただきます。この協議会にご参加いただきました皆様は、資料番号1番の構成員名簿のとおりでございます。私からご紹介させていただきます。

東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科教授、齊藤様でございます。

○齊藤委員

齊藤でございます。よろしく申し上げます。

○事務局（木暮主査）

北区スポーツ大使、上田様でございます。

○上田委員

上田です。よろしくお願いします。

○事務局（木暮主査）

同じく北区スポーツ大使、高橋様でございます。

○高橋委員

高橋勇市です。よろしくお願いします。

○事務局（木暮主査）

日本スポーツ振興センター西が丘管理部部長、河村様でございます。

○河村委員

河村でございます。よろしくお願いします。

○事務局（木暮主査）

東京都障害者総合スポーツセンター、瀬上様でございます。

○瀬上委員

瀬上です。よろしくお願いします。

○事務局（木暮主査）

東京都北区体育協会専務理事、奥倉様でございます。

○奥倉委員

奥倉です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

北区地域総合型スポーツクラブれっど★しゃっふる副理事長、吉村様でございます。

○吉村委員

よろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

北区スポーツ推進委員協議会会長、二村様でございます。

○二村委員

二村でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

北区町会自治会連合会王子地区会長、栗橋様、本日遅参との連絡を受けてございます。

北区商店街連合会会長、尾花様でございます。

○尾花委員

こんばんは、尾花と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

東京商工会議所北支部会長、越野様、本日は代わりまして事務局長、佐塚様、いらっしゃっていただいております。

○越野委員代理（佐塚）

北支部の事務局をやってます佐塚と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

東京都北区観光協会設立発起人会会長でございます大前様でございます。

○大前委員

大前でございます。城北信用金庫の理事長をしております。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

北区文化振興財団事務局長、伊藤様でございます。

○伊藤委員

伊藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

北区立小学校体育会、淵脇様、本日は代わって会長の渋谷様、いらっしゃっていただいております。

○淵脇委員代理（渋谷）

浮間小学校の校長をしております渋谷と申します。よろしくお願ひします。

○事務局（木暮主査）

北区立中学校体育会会長、井口様、本日は代わりまして副会長様、いらっしゃっております。

○井口委員代理（井口）

こんばんは、滝野川紅葉中学校副校長の井口と申します。よろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

北区立小学校PTA連合会会長、菅野様、本日遅参との連絡をいただいております。

北区立中学校PTA連合会会長、徳江様でございます。

○徳江委員

徳江です。よろしくお願ひします。

○事務局（木暮主査）

北区青少年地区委員会会長、加藤様でございます。

○加藤委員

加藤です。どうぞよろしくお願いいいたします。

○事務局（木暮主査）

北区青少年委員会会長、清水様でございます。

○清水委員

清水です。よろしくお願ひします。

○事務局（木暮主査）

続きましては行政側でございます。北区政策経営部から依田部長、本日欠席との連絡をいただいております。

北区地域振興部、浅川部長。

○浅川地域振興部長

よろしくお願ひします。

○事務局（木暮主査）

北区教育振興部、田草川部長です。

○田草川教育振興部長

よろしくお願ひいたします。

○事務局（木暮主査）

以上22名の委員の皆様となります。

このほか、事務局として東京オリンピック・パラリンピック担当課の職員が参加させていた
だいておりますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、議事に入ります。

議事につきましては、議題（1）から議題（3）の役員選任までは事務局において進行いた
しまして、議題（4）の区からの情報提供について以降は、選任されました座長に進行をお願
いしたいと存じます。

まず、議題（1）及議題（2）につきまして、一括して事務局から説明いたします。

○事務局（石丸課長）

東京オリンピック・パラリンピック担当課長の石丸です。それでは、説明させていただきます

す。

議題1の北区リレーションシップ協議会の概要についてでございます。資料3をご覧ください。

まず、目的です。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、関係団体・地域の連携強化を図り、北区全体の開催気運を醸成するとともに、地域の自主的な取り組みを促進するために、関係団体・地域等で構成された北区リレーションシップ協議会を設置するものでございます。

2番目、協議会の位置づけは後ほど説明いたします。

構成員は名簿でお示ししましたとおり、スポーツ、町会・自治会、商工関係、文化・観光、教育等の分野における関係機関・団体から22名で構成されております。(3)の構成員の任期ですが、平成33年3月31日までとなっております。

4番、役員を設置。協議会の座長及び副座長を委員互選により各1名選出いたします。

5、開催頻度等でございます。(1)番の開催頻度は年2回程度、そのほか開催が必要と判断した際には随時開催いたします。(2)の開催時間は毎回おおむね2時間程度でお進めいただきたいと思っております。

6番、関係者の出席。必要があるときは、会議に関係者を出席させることができるとしております。

7番、会議の公開でございます。原則公開ということでこちらにお示ししたとおりでございます。

8番の検討部会の設置。こちら(1)番が設置目的ということで、さらに詳しく検討する必要がある場合には検討部会を設置することが可能ということで、お示しのとおりでございます。

裏面をご覧ください。事務局の窓口でございます。私ども東京オリンピック・パラリンピック担当課、北とびあの10階に事務所がございます。よろしく願いいたします。

続きまして、別紙A4の横の北区リレーションシップ協議会の位置づけというのをご覧ください。左の上、目的でございます。先ほど説明いたしましたように、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けまして、関係団体・機関・地域及び北区が一体となり、オール北区で東京2020大会の気運醸成等に取り組んでいくために、関係者間の情報共有及び情報調整を強化し、地域で独自の取り組みを促進するというところでございます。

協議事項でございますけれども、こちらにお示ししたとおりでございます。

その下の図でございます。右側の行政と関係団体とのこれまでの関連性というところを下の

表のようにリレーションシップ協議会の設立により、より友好的に以降くつついていくという
ような結びつきを示してございます。

左の東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、それから東京都オリンピック
・パラリンピック準備局、こちらのほうの情報提供を受けまして、下にいきまして北区の東
京オリンピック・パラリンピック担当課、こちらがリレーションシップ協議会に情報提供いた
します。上のJISS、NTC、東京都障害者スポーツセンター、こちら側にも協議会に参加
していただいております。右の区内関係団体、スポーツ、町会・自治会、文化・観光、教育、
商工関係、こちらも協議会に参加していただきまして、取り組みを反映していただけるという
形でございます。

こういったものが一体化しまして、オール北区で東京オリンピック・パラリンピックに向け
て進めていきたいなというふうに思っております。

続きまして、資料の4番でございます。北区リレーションシップ協議会の設置要綱でござい
ます。今、お話ししたことがこちらの要綱のほうに埋め込まれています。

設置、第1条でございますけれども、先ほど説明いたしました気運醸成に取り組んでいくた
めのリレーションシップを設置するということでございます。

協議事項でございます。第2条、こちら(1)から(5)まで記載したとおりでございます。
構成、第3条につきましては、先ほどご説明しました委員と、それから座長、副座長等につ
いてのご説明でございます。

任期は先ほど説明いたしましたとおりでございます。

それから会議、第5条についても先ほどご説明したとおりでございます。

裏面にまいりまして、検討部会、こちら先ほど説明いたしましたように、検討部会を置く
ことができるということができる規定でございます。

事務局は私ども東京オリンピック・パラリンピック担当課となっております。

別表の1と2がそれぞれ、別表1につきましては、人につきましては学識経験者、スポーツ、
行政の人間でございまして、別表2が関係団体からの推進をいただくということで、先ほどお
示した皆様でこの協議会を構成していきたいと思っております。

以上、雑駁ですけれども、議題1についてのご説明でございます。よろしくお願ひいたしま
す。

○事務局（木暮主査）

ただいま説明させていただきました議題（１）及び（２）につきまして、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、続きまして議題（３）の役員選任についてに移ります。

協議会設置要綱第３条に基づく座長及び副座長の選出でございますが、どなたかご推薦はございますでしょうか。

○奥倉委員

私は先ほど構成員の紹介のところで紹介いただきました東京都北区体育協会の専務理事を仰せつかっております奥倉でございます。

私は座長に東洋大学の齊藤教授を推薦したいと思います。先生は健康スポーツ科学の教授として、また、スポーツを始めとした各種会議を進行なさり、豊富なご経験をお持ちとお聞きしております。また、本日の協議会はさまざまな立場や団体の方々が委員として構成されております。そういったことから学識経験者としてのお立場から会議をリードしていただくことに適任ではと思い、齊藤先生をご推薦したいと思います。

また、副座長には町会・自治会連合会の栗橋会長を推薦したいと思います。先ほど事務局から、この協議会の位置づけについて説明がございましたように、東京大会に向けて地域社会が一体となった取り組みが重要となってくると考えます。そうした意味合いからも地域の代表である栗橋会長が適任であると思い、推薦申し上げたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○事務局（木暮主査）

ただいま奥倉委員から、齊藤委員を座長に、栗橋委員を副座長にとのご推薦がございましたが、いかがでしょうか。よろしければ拍手をもってご承認をお願いいたします。

（賛成者拍手）

○事務局（木暮主査）

それでは、齊藤委員に座長を、それから栗橋委員に副座長をお願いしたいと思います。

齊藤委員におかれましては、座長席にご移動いただきまして一言ご挨拶を頂戴したいと思います。

○齊藤座長

ただいま座長にご推薦いただきました東洋大学の齊藤でございます。

大体こういう会議体は、学識経験者に大学の教員が充てられて、そのまま教員が座長というパターンが多いんですけれども、本来ですと私よりもご経験豊かな皆さんがいる中で、僭越ですが座長の任につかせていただきたいというふうに思います。よろしくどうぞお願いいたします。

いずれにしましても、2020年東京オリンピックが決まりまして、ここにきて会場のほうもやっと落ち着いてきたかなという感じでございます。大学のほうにもいろいろ国のほうから要請がございまして、先日もスポーツ庁長官の鈴木大地長官、実は私、鈴木大地、教え子でして、彼のところに行っているいろいろ話してきましたが、いろいろと大学にも無理難題を押し付けてきます。大学もいろいろと右往左往しているところでございまして、そんな中でこちらの北区リレーションシップ協議会ということで、今日、関係資料を拝見させていただきましたが、いわゆる開催気運を醸成する、簡単に言うと盛り上げなさいということでございますので、ここにいる関係者の皆さんで協力して、このオリンピックを成功させるために、その雰囲気をつくるための座長として微力ではございますけれども、頑張ったいと思いますので、ご協力のほどよろしくどうぞお願いいたします。（拍手）

○事務局（木暮主査）

ありがとうございました。

それでは議事進行を齊藤座長にお願いしたいと存じます。

座長、よろしくお願いいたします。

○齊藤座長

それでは、議事のほうを進めてまいりたいと思います。

次の議題は、（４）の区からの情報提供についてということがありますので、そちらのほう、事務局から説明をよろしくお願いいたします。

○事務局（石丸課長）

それでは、東京オリンピック・パラリンピック担当課長の石丸から説明させていただきます。

議題の（４）番、区からの情報提供でございます。①番の東京2020大会の概要でございます。資料5をご覧ください。

まず、1番がオリンピック競技大会、こちらの正式名称ですが、第32回オリンピック競技大会（2020／東京）と。開催期間につきましては、2020年（平成32年）7月24日から8月9日まで。競技数は33競技でございます。当初は28競技だったんですけれども、皆様ご承知のとおり、

ことし8月に野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技が追加されまして33競技になりました。

2番、パラリンピック競技大会でございます。正式名称が東京2020パラリンピック競技大会。開催期間がオリンピックが終わった後でございます。2020年（平成32年）8月25日から9月6日まで。競技数は22競技行われます。

3番目、エンブレムでございます。（1）番が大会エンブレムということで、今日、机上に配付させていただきましたピンバッジもこのエンブレムでございます。活用の基本的な考え方としましては、開催都市として東京2020大会に向け、都民一人ひとりがさまざまな形でオリンピック・パラリンピックにかかわり、気運醸成を図っていくため、オール東京で活用していくということで、私ども、区の事業を通じながら東京都での事業の体験した方にこのロゴが入りましたピンバッジを配布しているところでございます。

使用可能な団体というのは限られまして、政府、それから開催都市、スポンサー、それとJOC、JPCというようなところだけでございます。掲載可能な媒体といたしましては、ポスター、横断幕、のぼり、名刺、封筒、ニュースリリース等となってございまして、今ちょうど、のぼりもこの会場にいただいているところでございます。

（2）番に今度、公認マークというのが出ております。こちらの活用の基本的な考え方なんですけれども、東京都と市町村が一体になって互いに協力して事業を進めていくということでございます。

使用可能な範囲としては、やはり政府、開催都市、スポンサー、JOC、JPC等が実施する事業ということでございますが、対象の事業が、アクション&レガシープラン5本柱ということで、①番目のスポーツ・健康に限らず、②番目の街づくり・持続可能性、③番目、文化・教育、④番、経済・テクノロジー、⑤番、復興・オールジャパン・世界への発信などさまざまな分野が対象となってございます。

裏面をご覧ください。（3）番目の応援マークということで、平成29年度に開始予定となっております。活用の基本的な考えとしては、区市町村が地域団体一体となって地域の気運を盛り上げていく機会をつくるということなんですけれども、先ほどの公認マークが限られた団体だったんですけれども、応援マークについて使用可能な範囲は、公認マークの範囲以外の自治体、それから非営利団体等が実施する事業で使えるということで、対象事業につきましては公認マークと同様でございます。

この活用については、また後ほどご説明申し上げます。

4番目のボランティア。(1)番、大会ボランティアでございます。こちら組織委員会が募集いたしまして会場の案内・誘導、運営などがございます。2018年(平成30年)の夏ごろ募集を開始いたしまして、募集人員としては8万人という規模を予定しております。

それから(2)番の都市ボランティア、こちら東京都のほうで募集いたします。空港、主な駅、観光スポット等での案内・誘導ということで、こちらはいわゆる「おもてなし」というような形になるかと思えます。2018年(平成30年)の夏ごろ、大会ボランティアと同じような時期に募集を開始いたします。

それに先立ちまして米印ですけれども、ラグビーワールドカップ2019に向けまして、2018年(平成29年末ごろ)から一部前倒しの募集開始を予定しております。募集人員は1万人を予定しているところでございます。

5番の今後の主な予定です。2017年(平成29年)では、大会のマスコットというのが発表されます。2019年(平成31年)には、聖火リレーのルートが発表されます。この同じ年に9月から10月にかけてラグビーのワールドカップ2019が開かれます。本番のオリンピック・パラリンピック競技大会は先ほど説明しましたとおり、2020年(平成32年)7月から9月に行われるという形になってございます。

続きまして、②番の東京2020大会開催に向けた本区の取り組みでございます。資料の6番をお願いいたします。

まず、大きな1番、各種スポーツ教室の事業を行っております。

(1)番でトップアスリートの直伝教室ということで、こちらの事業は先々週になりますか、日曜日、1種目サッカーの事業を行ったところでございます。これから年度末にかけまして、さらに5種目を行っていきます。

(2)番のフェンシング教室です。こちらはフェンシングと、それから車いすのフェンシングの教室を行っております。特に車いすのフェンシングの通年の教室というのは非常に類がなく、全国の地方公共団体からも注目されているところでございます。北区から2020年東京大会の日本代表選手輩出を目指して頑張っていきたいと思っております。

(3)番のキッズアスレティックス体験プログラムということでございます。こちらはオリンピック出場選手らの専門指導員を小学校にお呼びいたしまして、「跳ぶ」「投げる」「走る」というような3要素を基本としました運動向上プログラムを実施いたしまして、子供たちの身体能力の向上を図るものでございます。

おめぐりいただきまして、次のスポーツ大使の任命、2番でございます。今日、お二人おい

でになっておりますスポーツ大使の任命をことし10月1日、区民まつりの滝野川会場で行ったところでございます。

(1) 番の目的。「トップアスリートのまち・北区」PRの旗手といたしまして、北区にゆかりのあるトップアスリートをスポーツ大使として任命し、さまざまな場面を通じて北区の魅力発信を図るとしてございます。スポーツ大使2名は、今日おみえになっています上田春佳さんと高橋勇市さん、略歴についてはこちらにお示しのとおりでございます。

(4) 番の今後の役割でございます。北区のイベント等々に出席していただきまして、オリンピック・パラリンピックの気運醸成を努めていただきます。また、区内外のイベント等において、スポーツの面から北区の魅力を発信するというところでございます。今月3日に障害者週間で記念講演会というのがございまして、高橋勇市さんにも参加していただいたところでございます。

続きまして、3番目のスポーツボランティア制度の創設でございます。

(1) 番の目的でございます。スポーツボランティア制度を創設し、スポーツ現場のボランティア確保・育成に取り組むとともに、ボランティアニーズの受け皿として機能させ、スポーツを通じた市民活動・社会貢献活動の活性化を図るというものでございます。また、さらに2020年の東京大会のボランティアの担い手、そして2020の東京大会以降もボランティアの文化を定着させていきたいということで、来年度から創設するものでございます。

現状ということで書いてあるんですけれども、スポーツを支える人材が不足していると、スポーツボランティアの停滞というのがございますけれども、これを下のほうに矢印に向けまして、スポーツボランティア制度を創設させて、効果というところでございますが、スポーツを軸とした共助社会の実現というようなことを目指していきたいというふうに思っております。

(3) 番の今後のスケジュールでございますけれども、今年度内は準備というようなことでございまして、来年4月以降、スポーツボランティア制度の登録を開始したいというふうに思っております。

次に、4番目の事前キャンプ誘致でございます。

(1) 番の趣旨です。東京2020大会に向けて、区立のスポーツ施設を活用し、子供たちの夢や希望、国際理解、障害者理解などのレガシー創出や、地域の活性化、魅力発信につなげられるように、事前キャンプの誘致を取り組んでいきたいというふうに思っております。

(2) の事前キャンプの概要ですけれども、これは外国の選手団が時差やコンディション調整を目的として任意に実施するトレーニングというところでございます。

(3) 番の28年度の取り組みということで、この枠に書いてあります組織委員会と東京都、それぞれ事前キャンプの候補地ガイドというところへ載せたところがございます。組織委員会の事前キャンプというのの候補地は非常にハードルが高くて、こちら滝野川体育館と、それから赤羽体育館ということで、これ、来年1月にオープンいたしますけれども、この体育館のそれぞれお示しの種目ということでございます。東京都のほうの事前キャンプのほうは比較的ハードルが緩いものですから、いろんなスポーツに対応できるというようなことで滝野川体育館、赤羽スポーツの森公園競技場、それから赤羽体育館というところを紹介するところがございます。また、宿泊施設といたしましては、赤羽と田端にありますホテルメッツを情報として載せております。

(4) の平成29年度以降に向けてでございますけれども、事前キャンプ誘致の実現に向けて、このリストの紹介のみならず、区の強みを生かしましてフェンシング、車いすフェンシングの誘致活動を展開していきたいなというふうに思っております。

続きまして、5番のトップアスリートのまち・北区の推進というところがございます。

(1) 番、「トップアスリートのまち・北区」駅前PR広告塔デザインの更新というところがございます。こちらには現在、赤羽駅の西口と十条駅の北口にこのような看板が立ててあるところがございますけれども、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが終わりまして、今度東京に向けてということで、デザインの更新というところを今、計画しているところがございます。平成29年3月にこの更新を完了する予定でございます。

(2) 番の東京2020大会開催の気運を醸成するポスターの掲示でございます。こちらはこのエンブレムの文言を取り入れた北区独自のポスターをつくってきたいなというふうに思っております。もちろん北区の公共施設や各駅などポスターを掲示したいなというふうに思っております。デザインイメージということで、これはまだ決定ではないんですけれども、このようなものを考えているところがございます。

続きまして6番のアスリートの手形モニュメントの設置でございます。

目的でございますけれども、オリンピック・パラリンピックが放つ特有の団結力や求心力を活用し、世界最大のスポーツイベントに関連する事業展開を行うことで、まちの活性化や地域の絆づくりを推進するとともに「トップアスリートのまち・北区」を構築していくというような目的で、この手形モニュメント今現在、計画を進めてございます。

(2) 番の設置場所としまして、区立稲付西山公園でございます。これはちょうどNTCナショナルトレーニングセンターの南側ということで、トレセン通り沿いに面しているところで

ございます。

(3) 番、手形アスリートです。スポーツ大使2名と、リオオリンピック・パラリンピック出場選手4名ということで、北区在住もしくは北区にゆかりのあった方についての手形を今、とっているところでございます。今後、手形アスリートの数につきましては、増やしていく予定でございます。

(4) のデザインですけれども、ここに書かれていますように、炎をモチーフデザインといたしまして、このような作りで稲付西山公園に設置していきたいなと思っております。小さく見にくいんですけども、塔の土台の上に手形がつくことになっていまして、手形を実際に触ることができるというようなことを計画していまして、よりオリンピック・パラリンピックを身近なものに感じていただければなというふうに思っております。

続きまして、7番のインバウンド（訪日外国人）の促進というところでございます。

(1) 番の外国人旅行者向け観光ガイドマップの作成ということで、観光振興担当のほうで進めてございます。

(2) 番の外国人ウエルカム商店街事業、こちらは産業振興課の事業でございます。

(3) 番の東京オリンピック・パラリンピックボランティア育成事業、こちらは教育委員会の生涯学習・学校地域連携課で進めてございます。内容につきましては、後ほどご高覧いただければと思います。

8番の安全・安心なまちづくりの促進というところで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた安全・安心なまちづくりに関する覚書というものを結びまして、こちらは区と3警察署についてこういったような内容の覚書を交わしたというところでございます。先月11月28日にこの覚書を締結してございます。担当は危機管理課のほうで担当しております。

9番の東京都オリンピック・パラリンピック教育ということでございます。こちら教育指導課のほうで担当してございます。

(1) 番の要旨でございますけれども、東京2020大会を子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉え、豊かな国際感覚を醸成し、ともに力を合わせて生活する共生社会を実現するために、区内全ての公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校を対象といたしまして「東京都オリンピック・パラリンピック教育」を展開するところでございます。

(2) の重点的に育成すべき5つの資質といたしまして、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚という5つのポイントがございます。

(3) の4つのプロジェクトということで、東京ユースボランティア、スマイルプロジェクト、夢・未来プロジェクト、世界ともだちプロジェクトという4つのプロジェクトが書かれています。

(4) 番のオリンピック・パラリンピック教育重点校ということで、重点校の指定といたしまして都内で100校指定されておりますけれども、北区では梅木小学校と稲付中学校が指定されているところでございます。

続きまして、③番の東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーについてご説明を申し上げます。資料の7番をお願いいたします。東京2020オリンピック・パラリンピックツアーでございますけれども、こちらはオリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグが東京都内の62区市町村を巡回し、各地でフラッグの到着を歓迎するセレモニーと展示を行うというところでございます。さらに、東日本大震災の被災した東北3県を始め、全国にもフラッグを届けるということでございます。

中ほどの各区市町村でのツアーの流れというところで、フラッグ到着の歓迎セレモニーとフラッグの展示ということが行われます。下がツアーフラッグについてということで、オリンピックのフラッグとパラリンピックのフラッグ、こちらでございます。

1枚おめくりいただきまして、フラッグツアーの都内循環の予定です。小さくて見にくいんですけれども、右側の中ほど下ぐらいに北区という欄がございます、まずセレモニーの日程ですけれども、1月29日日曜日、赤羽体育館のオープニングセレモニーに合わせて、このセレモニーを実施するということを計画してございます。フラッグの展示につきましては、ちょっと先になりまして2月18日から2月24日までということを考えてございます。

次のページ、こちらが東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーのスペシャルアンバサダーといたしましてTOKIOのメンバーが来てくれるという予定になってはいますが、まだどの方が来るか正式な発表はございません。アンバサダーといたしましては、オリンピック・パラリンピアンの中から来ていただくというような形でございます。

最後のページ、お願いいたします。東京都の第一庁舎でオリジナルフラッグの展示についてということで、これは11月1日から、既に都の第一庁舎の2階で展示されているということでございます。

その下は、東京オリンピック・パラリンピックのホームページの特設サイトについてのご案内でございます。

続きまして、④番の東京2020参画プログラムということについての説明です。資料の8番を

お願いいたします。

概要でございます。東京2020参画プログラムは、①番、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントへの参加促進、②レガシー創出に向けたアクションの促進を目的として実施ということで、公認プログラムと応援プログラムの2種類の区分がありますということでございます。

今年10月から開始ということでマークとの関係というのがありまして、大会エンブレムにつきましては、使用が認められる団体に対して付与されます。これは東京2020参画プログラムのマークはさまざまな主体が実施するイベントや事業等のうち、公益性・非営利性など一定の要件を満たすものを対象に付与しますということでございます。

こちらの表にロンドン大会、リオ大会、東京大会のそれぞれの公認マーク、応援マーク、それから大会のエンブレムというのが出てございます。下の使用範囲というところがございます。先ほどご説明したとおりでございますけれども、公認マークと応援マークの違いが、いわゆる非営利団体等が応援マークを使いますというところがございます。

下の四角、左側の2番、認証を受けることで実施可能な事項ということでございます。この東京2020参画プログラムのマークの使用、それからオリンピック・パラリンピック及びそれに関連する文言の文言使用が可能。組織委員会が認めたイベント・事業としてPR可能ということでございます。

スケジュールでございます。公認マークの付与の事業というのは12月に始まっているところでございます。そして、2017年度から区市町村を経由いたしまして応援マークの付与事業を開始するというので、2020年に向けて気運醸成を図っていくというふうになっております。

裏面をご覧ください。こちらが東京2020参画プログラムの地域活性化に向けた活用ということでございまして、左側の東京2020公認プログラムと、それから東京2020応援プログラム、これも違いが出ていますところがございます。このプログラムにつきましては、区市町村が東京都オリパラ局を通じて組織委員会に申請して認証を得るところでございますけれども、右側の応援プログラムにつきましては、地域団体等々が区市町村と東京都オリパラ局を経由して組織委員会に申請、認証されるというようなところが違いになっているところがございます。

さて、最後に⑤番のリオデジャネイロ2016大会の結果報告というところがございます。

1番のオリンピックでございます。大会のスケジュール。今年8月5日から8月21日まで行いました。

(2)番、北区ゆかりの選手といたしまして、まず、①の長谷川涼香さん、競泳の女子200mバタフライに出場しております。田端中学校の出身でございます。

②番の中村航輔さん、サッカー男子のゴールキーパーでして、2試合出ております。こちらは王子桜中学校の出身でございます。

(3) 番の東洋大学の在学の選手。東洋大学は北区と包括協定を結んでいるということでございまして、ここに紹介させていただいております。

まず①番、萩野公介選手、御存じのとおり競泳男子、400m個人メドレーで金メダル、200mの個人メドレーで銀メダル、4×200mフリーリレーで銅メダル、200m自由形7位と。

続いて②番の内田美希さん、競泳女子ということで4×100mフリーリレーで8位、100m自由形、それから4×100mメドレーリレー自由形に参加しております。

それから③番の桐生祥秀選手、陸上の男子、4×100mリレーで銀メダル、それと100mにも出場してございます。

④番が松永大介選手、陸上男子、20キロ競歩で7位になっております。

⑤番がウォルシュ・ジュリアン選手、陸上男子で400mと4×400mに出場しております。

裏面をお願いいたします。パラリンピックでございます。ことし9月7日から18日までに行われました。

(2) 番で北区ゆかりの選手で、まず①番が池愛里選手、競泳女子でございます。現在、東京成徳大学高等学校の3年生に在学してございます。成績といたしましては、50m自由形、100m自由形、100m背泳ぎ、100mバタフライ、100m平泳ぎに出場しております。そして女子の4×100mリレーでは6位、女子の4×100mメドレーリレーで7位になっております。

②番が多川知希選手、陸上の男子でございます。こちらは北区中十条に在住でございます。成績といたしましては、4×400mリレーの銅メダルで、100mにも参加してございます。

3番の今後の予定でございます。北区ゆかりの選手を中心としてさまざまな取り組みを実施したいなと思っております。参考とありますけれども、先ほどちょっとお話しさせていただきましたけれども、障害者週間記念講演会が今年12月3日土曜日に行われまして、スポーツ大使の高橋勇市選手とともに多川選手も出演いただいたというところでございます。

以上です。

○齊藤座長

ありがとうございます。

若干ボリュームのある説明でしたけれども、みなさんよろしいでしょうか。

では、ただいまの事務局からの説明に対してご質問、ご意見等ある方はお手を挙げていただければマイクをお持ちいたしますので、よろしくをお願いします。

せっかくの機会ですので、細かいことでも結構ですので。

特によろしいですか、この場では。

○徳江委員

中学校PTA連合会会長の徳江です。

トップアスリート直伝教室、資料6の一番上に載っているんですが、各学校、小学校も加えて、こういったトップアスリート直伝教室というのが各生徒に配られていて、募集がそれぞれ80名とか50名とかあるんですが、締め切りがまだ終わっていないのかな。定員に対して何名ぐらゐの参加があるのかというのをお聞きしたいんですが。

○齊藤座長

事務局、説明お願いできますでしょうか。

○事務局（岩崎主事）

先日、行われたサッカー教室では定員が120としたんですけども、応募者としてはその倍ぐらゐの250ぐらゐの方が応募ありまして、実際に当日のキャンセル等もありまして、参加した数は100名になっております。

○浅川地域振興部長

この間のサッカー教室では鈴木隆行選手が来たんです。

○事務局（岩崎主事）

この間のサッカー教室は、元日本代表の鈴木隆行選手と戸田和幸選手、2002年ワールドカップで活躍したお二人が主にご指導してくださいました。参加者の方の子供たちも非常に楽しそうにやっていたので、よかったなというふうに思っています。

○徳江委員

ありがとうございました。

○齊藤座長

そのほかはございませんでしょうか。よろしいですか。

特段ないようでしたら次の議題に移りますがよろしいですか。

では、ないようですので、次の議題に移りたいと思います。

続きましての議題は（5）番の議題になります今後のスケジュールについて、事務局から説明をよろしくお願ひします。

○事務局（石丸課長）

それでは説明させていただきます。今後のスケジュール、(5)番の議題でございます。資料10をご覧ください。今後のスケジュール(予定)となっております。

本日、平成28年12月19日月曜日、こちらが平成28年度第1回北区リレーションシップ協議会ということで、今日がキックオフという形になります。

それから、大きな行事といたしましては、平成29年、来年です、2月19日日曜日から26日まで2週に分けて第8回アジア冬季競技大会、これは札幌市、帯広市で行われます。

それから、先ほどご説明いたしましたとおり、平成29年度になりますと、東京2020の応援プログラムの事業開始ということで、非営利団体等々がこういったマークを使いまして各種の事業展開をしていくというような事業が始まります。

29年6月に、平成29年度第1回目の北区リレーションシップ協議会を開催していきたいというふうに予定しております。

そして、平成29年12月に、平成29年度第2回北区リレーションシップ協議会を開催してまいります。

そして、同じ年度の平成30年、年が明けまして平成30年2月9日から25日まで、こちらが第23回オリンピック冬季競技大会ということで、お隣韓国の平昌で行われます。

同じく平成30年3月9日金曜日から18日日曜日まで、こちらが第12回パラリンピック冬季競技大会ということで、同じく韓国の平昌で行われるということで、これが一応今年度と来年度のリレーションシップ協議会の予定と、その合間に入っております大きな国際大会の予定というようなものを入れた主なスケジュールということです。どうぞよろしく願いいたします。

○齊藤座長

説明ありがとうございます。

ただいまの事務局の説明のほうにご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

特にございませんか。既に予定されている国際大会と、あとはこの協議会の日程ということで、そんなにないかなとは、思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、これで本日予定された議題はこれまでということで終了なんです、その他ということで各委員のほうから何かありましたら、もしくは事務局から何かありましたらよろしくお願いいたします。

○事務局(木暮主査)

事務局です。

1点、城北信用金庫様から情報提供いただきました事業についてご説明させていただきます。

アスリートの方が安心して競技、練習環境を整える、そういった意味でお金の面というのは大事なことというふうになってございます。区内でも城北信用金庫様におきましては、アスリートの方々、積極的な雇用をされているというふうに聞いております。東京新聞の写しでございますけれども、左のところにアスリートの方々のお名前等載っております。ご紹介させていただきます。

以上でございます。

○齊藤座長

皆様、お手元資料、こちらの資料がありますが、ご覧いただければというふうに思います。そのほか各委員の方から何かありますでしょうか。よろしいですか。

特になければ、これで予定された議題終了ということになります。皆様の協力でスムーズな議事進行をすることができましてありがとうございます。

これにて閉会といたします。ありがとうございました。（拍手）

午後6時29分閉会